

地域資源を活用した枇杷と花のまち活性化事業

概要

房州枇杷や花卉は特産物として生産されているが、生産者の高齢化と生産経費の増加等の課題がある。一方、枇杷葉には古くから薬効があるといわれているが、科学的な検証は進んでいないため、効果的な商品開発が困難な状態である。このことから、農家の生産経費を下げるため、施設園芸用薪暖房機で使用する薪の製造等の効率化とコスト削減を図る。また、枇杷栽培の作業性向上のために枇杷の実験植樹等を行うとともに、枇杷葉の機能性を活かした新商品を開発し、枇杷葉を出荷品目として確立し、農家の経営安定を図る。

千葉県南房総市



事業の内容

事業の内容

- 施設園芸暖房機用薪の低価格化：薪製造機の導入等による製造、運搬の効率化。
- 作業性向上に向けた枇杷植樹：枇杷の低樹高栽培の導入、耕作放棄地での生育実験。
- 枇杷葉機能性調査研究：枇杷葉の機能性を食品科学の観点から実証するための調査研究。
- 枇杷葉ブランド戦略の立案及び新商品開発：枇杷葉を活用した新商品の開発、中長期販売手法の立案。

総事業費

11.0百万円

ポイント

- 地域資源である木質バイオマスのエネルギー利用を促進させる。
- 枇杷葉の持つ機能性の一部を科学的に明らかにする。
- 地域のキラークンテンツとなる特産品の中長期的なブランド戦略を立てる。

事業の成果

- 薪1立米の製造及び配送に係る経費が8,074円が6,105円に改善される調査結果が出た。
- 枇杷の作業性向上のために平地による低樹高栽培、及び耕作放棄地での新たな栽培作物としての基盤が整備された。
- 枇杷葉機能性の既存報告は、有機溶媒による抽出物の効果であり、水抽出物の機能性に関する科学研究はあまり進んでいない。今回の研究で枇杷葉の水抽出物が脂肪細胞の分化の促進作用を示すことが示唆された。
- 枇杷の果実のみならず、枇杷葉に付加価値を付けてブランドを強化する方針を明らかにした。

事業実施体制

